

第2期おやベルネサンス総合戦略

【第3次改訂】

令和5年5月
富山県小矢部市

第2期おやべルネサンス総合戦略の構成

I 総合戦略の位置付け	1
1 戦略策定の趣旨	1
2 計画の期間	1
3 推進体制	1
II 基本的な考え方	2
1 目標人口	2
2 第2期総合戦略の基本理念	3
3 第2期総合戦略の基本目標	4
4 地方創生SDGs（持続可能な開発目標）の取組	5
5 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた国の 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の改訂を踏まえた対応	6
6 小矢部市デジタル化推進計画の推進	6
III 今後の施策の方向	7
基本目標1 魅力ある“しごとづくり”	7
基本目標2 人をよびこむ“まちづくり”	12
基本目標3 未来を拓く“ひとづくり”	18
基本目標4 みんなで支え合う“しくみづくり”	25
目標値・KPI一覧	35
【参考資料】	38
第1期総合戦略の目標達成状況と課題	38

I 総合戦略の位置付け

1 戦略策定の趣旨

国においては、地方の人口減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持するために、平成26年11月に「まち・ひと・しごと創生法」が制定されました。翌12月には、「まち・ひと・しごと総合戦略」が閣議決定されました。

また、同法第10条で、市町村は、まち・ひと・しごと創生総合戦略を勘案して、当該市町村の区域の実情に応じた施策についての基本的な計画を定めるよう努めなければならないと規定しています。さらに、「まち・ひと・しごと創生基本方針2019」において、令和2年度以降の第2期「総合戦略」の策定を進めることとされています。

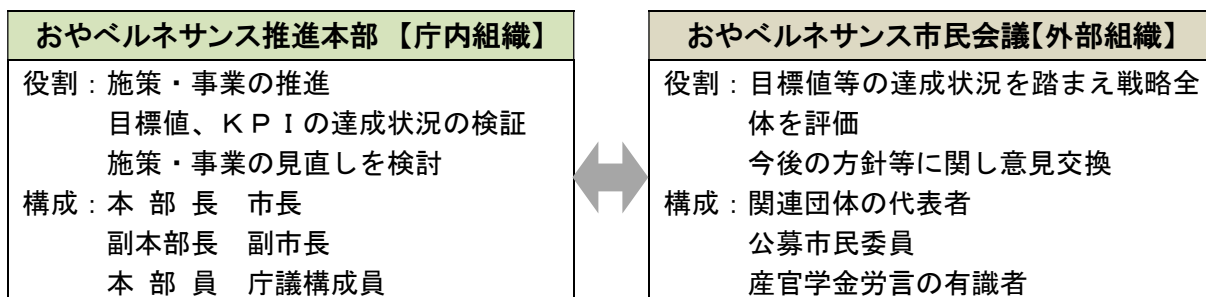
本市においても、平成27年10月に策定したおやベルネサンス総合戦略（以下「第1期総合戦略」という。）の計画期間が令和元年度をもって満了を迎えることに伴い、地方創生の充実・強化に向け、切れ目ない取組を進めるため、第2期おやベルネサンス総合戦略（以下「第2期総合戦略」という。）を策定するものです。

2 計画の期間

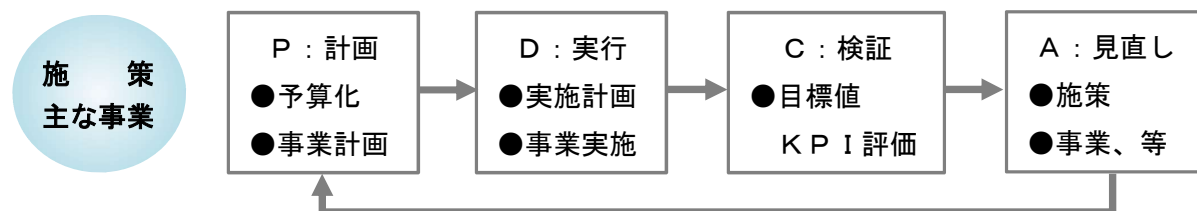
令和2年度から令和6年度までの5年間とします。

3 推進体制

市長を本部長とする「おやベルネサンス推進本部」において施策・事業を推進するとともに、内部評価、改善策の検討を行います。外部組織として「おやベルネサンス市民会議」を設置し、目標値やKPIの達成状況を踏まえ戦略全体を評価し、今後の方針等に関し意見をいただきます。



施策及び主な事業に関しては、年度終了後、基本目標ごとに目標値及びKPIの達成状況、実施状況を整理し、「おやベルネサンス市民会議」と「おやベルネサンス推進本部」が連携し戦略全体の検証を確認し、施策及び事業の見直しを図るPDCAサイクルを実施します。



II 基本的な考え方

1 目標人口

令和42年（2060年）の目標人口を約22,000人とします。

目標人口の考え方

【出生率の目標】

●段階的に出生率の上昇を図る

- ・合計特殊出生率：1.6（2020年）→1.9（2030年）→2.07（2040年以降）

【純移動率（人口に対する転入転出割合）の目標】

●15～19歳の純移動率（転出超過）を転出抑制により軽減

- ・2021年～2030年：転出を重点的に抑制する（社人研*推計値の1/4水準）。
- ・2031年～2035年：転出を抑制する（社人研*推計値の1/2水準）。
- ・2036年以降：転出を抑制する（社人研*推計値の2/3水準）。

●20～24歳の純移動率（転入超過）を転入促進により増加

- ・2021年～2030年：転入を重点的に促進する（男性：社人研*推計値の2.5倍、女性：社人研*推計値の3.0倍）。
- ・2031年～2035年：転入を促進する（社人研*推計値の1.5倍）。
- ・2036年以降：社人研*推計値と同水準を維持する。

●5～14歳、25～49歳の転出超過の年代に対し転出抑制を図る

- ・2025年以前：段階的に転出を抑制する。
- ・2026年以降：転入、転出の均衡を維持する（但し、転入超過の年代は社人研*推計値を用いる）。

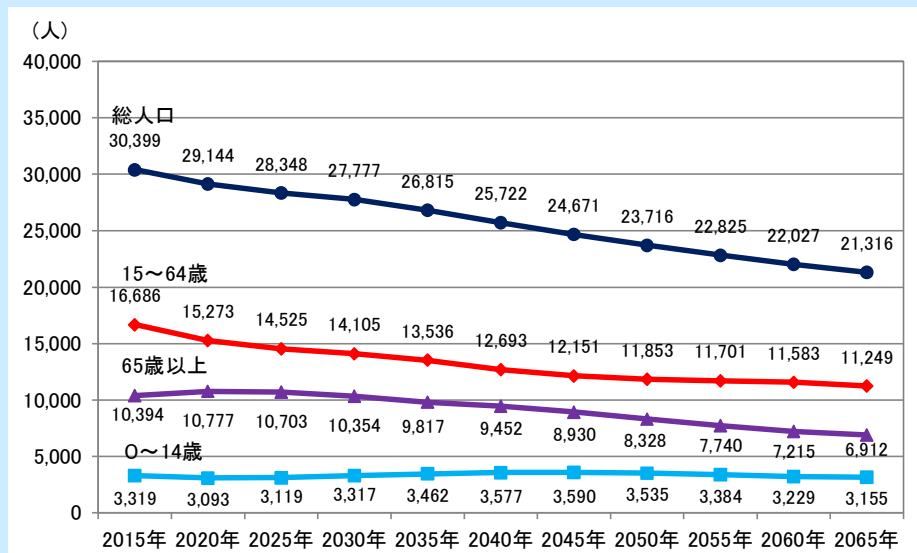
【移動数の目標（外国人）】

●外国人の増加

- ・2030年以前：年間40人（2016年～2018年の3年間の外国人社会増減より算定）増加を見込む。

※社人研：国立社会保障・人口問題研究所

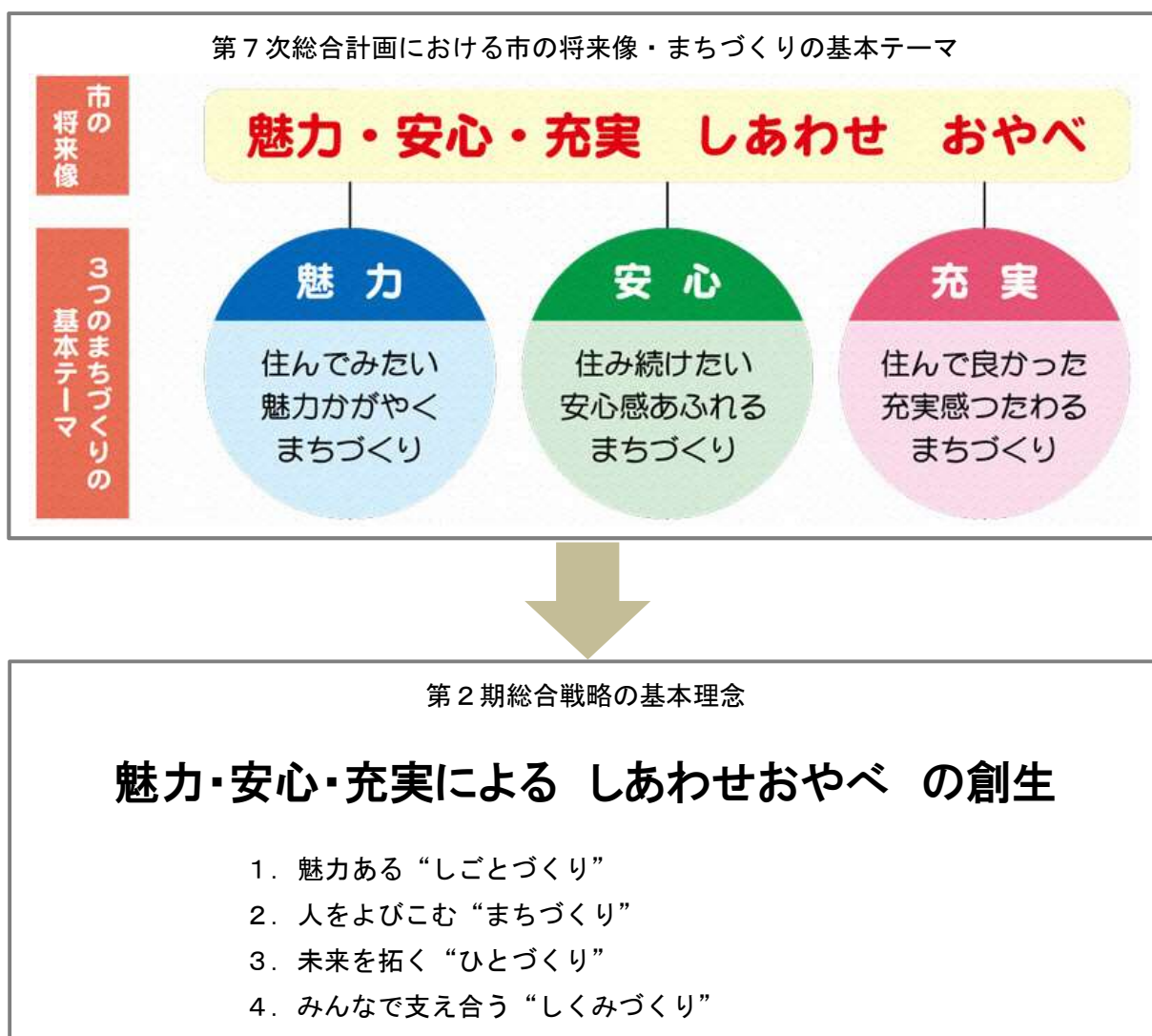
小矢部市の人口推移(上記設定に基づく推計)



2 第2期総合戦略の基本理念

第1期総合戦略においては人口減少・少子高齢化という構造的な課題に対し、国の「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン（2014年12月）」において示された4つの基本目標である「しごとづくり」、「ひとの流れをつくる」、「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」、「安心なくらしを守り、地域と地域を連携する」と連動する形で、「雇用の創造」、「交流・定住促進」、「結婚・出産・子育て・教育」、「安心・快適なまち」を基本目標とし、取組を進めてきました。

第2期総合戦略においては、第1期総合戦略の期間中に策定された「第7次小矢部市総合計画（2019年3月）」（以下「第7次総合計画」という。）との一体性に留意し、第1期総合戦略の4つの基本目標の構造は基本的に維持しつつ、本市の最重要課題である人口減少の抑制や、魅力ある雇用の創出、そして魅力ある市街地の形成等を図り、将来像「魅力・安心・充実 しあわせ おやべ」の実現に向けた計画を目指します。



3 第2期総合戦略の基本目標

第7次総合計画では、人口減少対策を本市の最重要課題とし、それに対応するために各分野を横断して取り組むべき重要な施策を「重点プロジェクト」として位置づけています。第2期総合戦略においては、第1期総合戦略における基本目標の構造を維持しつつ、この4つの重点プロジェクトを総合戦略の柱となる4つの基本目標とすることにより、第7次総合計画と一体的な計画とし、一貫した人口減少対策に取り組むことを目指します。

基本目標1 魅力ある“しごとづくり”

- (1) 地域産業の競争力強化
- (2) 若者や女性に魅力ある産業等の創出
- (3) 地域資源を活かした農業・農村等の振興・活性化
- (4) 雇用環境の整備

基本目標2 人をよびこむ“まちづくり”

- (1) 移住・定住への支援
- (2) 観光の振興
- (3) 魅力ある市街地等の形成

基本目標3 未来を拓く“ひとづくり”

- (1) 結婚支援
- (2) 妊娠・出産・子育てまでの一貫した支援
- (3) おやべっ子を育む教育環境の充実
- (4) 若者・女性の経済的活動の促進

基本目標4 みんなで支え合う“しくみづくり”

- (1) 安全・安心な地域づくり
- (2) 生涯現役の地域づくり
- (3) 利便性の高い地域づくり
- (4) 住民主体の地域づくり
- (5) 住み続けたい地域づくり
- (6) 地域連携の推進
- (7) 効率的な行政運営の推進

4 地方創生SDGs（持続可能な開発目標）の取組

SDGsとは、2015年9月の国連サミットで採用された国際目標であり、持続可能な世界を実現するための17のゴール、169のターゲットが示されています。

「まち・ひと・しごと創生基本方針 2019」において、「地方創生SDGsの実現などの持続可能なまちづくり」が位置づけられ、地方公共団体においてもSDGsの普及促進が求められています。本市で実施している事業について、これまではSDGsの目標との関連付けをしていませんでしたが、元来、自治体の実施する事業は、環境、教育など、SDGsの目標に沿ったものであります。このことから、第2期総合戦略に掲げる施策の展開に当たっては、従来の事業を進めていく中で、SDGsの目標を意識して事業に取り組むことを目指します。

SDGsの17のゴール

 <p>1 貧困をなくそう</p>	あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ	 <p>10 人や国の不平等をなくそう</p>	国内および国家間の不平等を是正する
 <p>2 飢餓をゼロに</p>	飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する	 <p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	都市と人間の居住地を包摂的、安全、レジリエントかつ持続可能にする
 <p>3 すべての人に健康と福祉を</p>	あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する	 <p>12 つくる責任 つかう責任</p>	持続可能な消費と生産のパターンを確保する
 <p>4 質の高い教育をみんなに</p>	すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する	 <p>13 気候変動に具体的な対策を</p>	気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る
 <p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p>	ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る	 <p>14 海の豊かさを守ろう</p>	海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する
 <p>6 安全な水とトイレを世界中に</p>	すべての人々に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する	 <p>15 陸の豊かさも守ろう</p>	陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る
 <p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>	すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する	 <p>16 平和と公正をすべての人に</p>	持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する
 <p>8 働きがいも経済成長も</p>	すべての人々のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワークを推進する	 <p>17 パートナリシップで目標を達成しよう</p>	持続可能な開発に向けて実施手段を強化しグローバル・パートナーシップを活性化する
 <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>	レジリエントなインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、イノベーションの拡大を図る		

5 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の改訂への対応

新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、国において第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が改訂され、新しい地方創生の実現に向けた今後の政策の方向性が打ち出されました。

(以下、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」2020改訂版より抜粋)

①感染症による意識・行動変容を踏まえた、ひと・しごとの流れの創出

感染症を契機とした、地方移住への関心の高まりを地方への大きなひと・しごとの流れにつなげていくため、恵まれた自然環境や人々の絆の強さなどの地域の魅力を高め、人を惹きつける地域づくりや魅力を発信していくことが重要。

②各地域の特色を踏まえた自主的・主体的な取組の促進

感染症の影響を踏まえ、各地域に適した地方創生の取組を進めるため、より一層、各地域が地域の将来を「我が事」としてとらえ、特色や状況を十分に把握し、隣接する地域との連携を図りつつ、最適な方向性を模索し、各地域が自主的・主体的に取り組むことが重要。

また、上記の方向性に加え、各基本目標に対して横断的な目標が2つ追加されました。

(以下、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」2020改訂版の該当部分を要約)

①多様な人材の活躍を推進する

地方創生が点の取組から面の取組に広がり、真に継続・発展していくためには、多様なひとびとの活躍による地方創生の推進が重要。

また、活気あふれる地域をつくるため、若者、高齢者、女性、障害者、外国人など、誰もが居場所と役割を持ち活躍できる地域社会を目指す。

②新しい時代の流れを力にする

スーパーシティ構想の推進など、地域におけるデジタル・トランスフォーメーションの活用による地域課題の解決のため、Society 5.0の推進を行う。

また、持続可能なまちづくりや地域活性化に向けて取組を推進するにあたり、SDGsの理念に沿って進めることにより、政策の全体最適化や地域課題解決の加速化という相乗効果も期待できるため、SDGsを原動力とした地方創生を推進する。

本市の第2期総合戦略における各種施策や事業にも、上記の新たに追加された方向性及び目標を踏まえ、新しい生活様式への対応などのため、実施される事業を追加していくこととします。

6 「小矢部市デジタル化推進計画」の推進

近年の急速な情報通信技術・デジタル技術の発展により、暮らしに必要なサービスの多くがスマートフォン等を用いてデジタルで受けられるようになりました。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大がもたらした「新しい生活様式」に代表される日常生活や働き方の大きな変革は、行政サービスの提供においてもできる限り人との接触の抑制が求められるなど、業務の在り方の見直しが必要となっています。そうしたことから、デジタル技術を活用し、様々な社会課題の解決や新たな価値の創造につなげるDXの取組が注目されています。

本市における「行政のデジタル化」と「社会のデジタル化」の実現を目指すため、行政サービスにおけるデジタル技術及び官民データの活用によるサービス向上と官民が創意工夫しながら、より柔軟で創造的な取組を協働して行うための基本的方針を示し、各施策を計画的に実施することで、着実に本市のデジタル化を推進するために「小矢部市デジタル化推進計画」を策定しました。

第2期総合戦略においてもデジタル分野に係る施策及び事業を示し、着実に実施していくことで本市のデジタル化を推進していくこととします。

Ⅲ 今後の施策の方向

基本目標 1 魅力ある“しごとづくり”

基本的方向

地域産業の競争力強化・発展を図りながら、アウトレットモールの立地や本市の特色を活かした産業・事業所を新たに創出し、新分野での起業等への支援をすることで、若者や女性が活躍できる魅力あるしごとを創出します。加えて、新型コロナウイルス感染症の拡大を契機とした、地方への新しい人の流れを創出し、東京圏の一極集中是正、地方分散型の活力ある地域社会の実現を図ります。それにより、小矢部市で働くことを通じて、移住・定住を促進し、社会動態の改善を図ります。

また、農林業等における担い手の確保、中山間地域への支援等を図るとともに、6次産業化への支援等を通じて生産品の高付加価値化を推進することで、農村地域の新たな魅力を創出し、生産性・所得の向上と地域の活性化を図ります。

目標値

指標	現状値 (R1)	目標値 (R6)
市内従業者数	15,058 人※ (H28)	14,300 人
市内事業所数	1,623 事業所※ (H28)	1,500 事業所

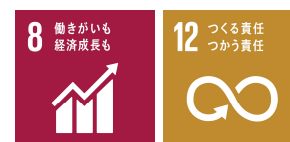
※H28 経済センサス

具体的な施策・事業

(1) 地域産業の競争力強化

① 地場産業の育成

繊維業をはじめとする地場産業の育成を図るため、企業による商品開発やブランド化への支援を柱に経営者支援、中小企業への金融対策等を充実し、経営の安定と強化を図ります。



■重要業績評価指標 (KPI)

指標名	現状値 (R1)	目標値 (R6)
製造品出荷額等 (製造業)	79,300 百万円 (H30)	現状維持
年間商品販売額 (小売業)	28,224 百万円 (H28)	現状維持

■主な事業 (◎: 重点プロジェクト事業、(継)継続事業)

事業名	事業概要
◎(継)商工業振興対策事業	市内中小商工業の振興、経営の安定・改善を図り、定住人口の増加に寄与するため、助成金・利子補給金の交付を行う。
(継)中小企業金融対策事業	市内中小企業の円滑な資金繰りを支援し、企業経営の安定化に寄与することで、地域産業を活性化させ、雇用を創出し、定住人口の拡大を図る。

(継)経営改善普及事業	商工会が行う小規模事業者の指導及び商工業者の振興と安定を図るための事業に要する経費について補助金を交付することで、市内商工業の総合的な発展に寄与し、地域活性化、雇用の創出、定住人口の拡大を図る。
(継)専門家派遣活用事業	強化したい事業分野に応じた専門家の診断を受けることで、市内企業（事業所）の経営強化を支援する。

②企業立地支援制度の充実

市内の企業には販路拡大等の支援をするとともに、交通の利便性や災害が少ないことなど、小矢部市の特性を活かした企業立地を推進します。

■重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状値（R1）	目標値（R6）
企業立地助成金助成件数（累計）	35件（H30）	41件
販路拡大支援助成件数（累計）	7件（H30）	37件

■主な事業（◎：重点プロジェクト事業、(継)継続事業）

事業名	事業概要
◎(継)企業立地助成事業	小矢部市内への企業立地を推進するとともに、市内企業への事業支援を行うことで、地域産業の発展と雇用の創出を図り、定住人口の拡大と地域経済の活力創出に寄与する。
◎(継)販路拡大支援事業	中小企業者等の販路開拓等を支援し、本市における産業の振興と発展を図るため、見本市等に出展する事業者に対し、その会場費等の一部を補助する。
(継)サテライトオフィス整備等事業	市内にサテライトオフィスを新設した事業者に対する補助により、UIJターン及び企業誘致の促進を図る。併せて、ワークライフバランスの充実、新型コロナウイルス感染症対策の促進を図る。

(2)若者や女性に魅力ある産業等の創出



①創業者支援等の推進

商工会や市内民間金融機関との連携により、創業者、新分野への進出企業等に対する支援情報の提供を図り、個人の起業、中小企業の第二創業、事業の承継等を推進します。

■重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状値（R1）	目標値（R6）
商業インキュベータ独立件数（累計）	0件（H30）	2件

■主な事業（◎：重点プロジェクト事業、(継)継続事業）

事業名	事業概要
◎(継)創業支援事業	関係機関と連携し、情報提供等を行うことで、女性や若者等、様々なニーズに対応した地域における創業を促進する。

◎事業承継促進事業	市内で創業を希望する者と廃業を予定している者とのマッチングを図るとともに、起業を支援し、空き店舗の解消につなげる。
-----------	---

②誘致活動の推進

若者や女性に魅力のある仕事を新たに創出するため、産業用地に適した市有地（遊休地）等への企業誘致等を推進するとともに、新産業団地の整備に向け適地調査を行います。

■重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状値（R1）	目標値（R6）
工場立地用地取得件数（1,000㎡以上、累計）	24件（H30）	36件

■主な事業（◎：重点プロジェクト事業、(継)継続事業）

事業名	事業概要
◎(継)産業用地管理事業 (産業用地の管理、新産業団地適地調査)	小矢部フロンティアパーク及び東部産業団地内の市有財産等について適切な管理を行う。また、創業者支援団地及び旧中小企業大学校候補地などの用地管理を行うとともに今後の活用のための調査・研究を行う。
(継)企業立地対策事業(県企業立地セミナー、とやま呉西圏域ビジネス交流交歓会)	小矢部市内への企業立地を推進するとともに、市内企業への事業支援を行うことで、地域産業の発展と雇用の創出を図り、定住人口の拡大と地域経済の活力創出に寄与する。

(3)地域資源を活かした農業・農村等の振興・活性化



①農村環境保全の推進

近年、イノシシをはじめとする野生鳥獣による農作物への被害が深刻な問題になっていることから、小矢部市鳥獣被害防止計画に基づき対策を推進し農村環境を保全します。

■重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状値（R1）	目標値（R6）
鳥獣による農作物被害額	312万円（H30）	266万円

■主な事業（◎：重点プロジェクト事業、(継)継続事業）

事業名	事業概要
◎(継)有害鳥獣捕獲対策事業	市内において有害鳥獣による人畜並びに農林水産物への被害等の防止を目指し、地域住民、農業関係者等と連携して、その対策を講ずることができるよう支援する。

②農業経営の安定化

農業の担い手確保・育成にかかわる団体（担い手育成総合支援協議会等）を支援し、若者が農林業に参入し、生計を成り立たせ、定住できる仕組みを推進するとともに、6次産業化等により農業経営の安定化を図ります。

■重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状値（R1）	目標値（R6）
担い手への農地集積率	75.7%	90.0%

■主な事業（◎：重点プロジェクト事業、(継)継続事業）

事業名	事業概要
◎(継)農業後継者育成事業	農業の新規担い手の確保・育成を推進するため、団体等や認定農業者に対し、就農に必要な実践的知識・技術の習得を支援する。
◎6次産業化支援事業	農林業における所得の向上や地域活性化を図るため、農林産物の高付加価値化の取組を支援する。
(継)中山間活力創生事業	中山間地域の自然的・経済的・社会的条件が不利な地域に対して、農業を活性化させるための取組を支援する。

③小矢部ブランドの活用拡大

稲葉メルヘン牛やバラ等の地場産食材並びに地場産花卉を活かし、小矢部らしい特色あるブランドの開発を進めるとともに、認定商品のブラッシュアップ、周知PR活動を推進し、農産物等の付加価値向上を図ります。

■重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状値（R1）	目標値（R6）
小矢部ブランド認定件数（累計）	17件（H30）	19件

■主な事業（◎：重点プロジェクト事業、(継)継続事業）

事業名	事業概要
◎(継)小矢部ブランド推進事業	平成22年度から、小矢部市の知名度向上を目的として、小矢部ブランド認定制度を開始。現在、17製品が小矢部ブランドに認定されており、情報発信に努めている。
◎(継)特産物振興事業	県内イベントに参加するとともに、食品衛生やブランド研修会等を開催することで新たな特産品の開発を進める。

④森林資源・水産資源の活用

市産材を活用した住宅建築などへの支援により、森林資源の育成・活用を推進し、里山の再生を図ります。また、小矢部川をはじめとする内水面における資源の活用を図ります。

■重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状値（R1）	目標値（R6）
おやべの木年間利用量	0 m ³ （H30）	50 m ³

■主な事業（◎：重点プロジェクト事業、(継)継続事業）

事業名	事業概要
◎おやべの木活用推進事業	おやべの木活用促進事業補助金を交付することで、小矢部市産の木材の活用推進を図る。
◎みどりの森再生事業	荒廃の進む人工林を再生することで、森林の公益的機能の向上を図る。

◎里山再生整備事業	地域や生活に密着した明るい里山を再生するために、里山の再生整備を推進する。
(継)内水面漁業対策事業	小矢部川水系における資源の保護及び増殖を図り、内水面漁業の育成・啓発を行う。

(4)雇用環境の整備



①雇用環境の向上

女性や若者、障害者、外国人など多様な人材が働きやすい環境づくりを支援するとともに、ワーク・ライフ・バランスや多様で柔軟な働き方等を啓発することで、雇用環境の向上を図ります。

■重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状値（R1）	目標値（R6）
市内従業者数	15,058人※	14,300人

※H28 経済センサス

■主な事業（◎：重点プロジェクト事業、(継)継続事業）

事業名	事業概要
◎(継)雇用促進支援事業	市外で開催される合同企業説明会等に出展する事業者に対し、その出展に係る費用の一部を補助することで、市内の事業所が優秀な人材を確保することを支援し、本市における産業の振興と市内事業所の発展を図る。
◎ワーク・ライフ・バランス、働き方啓発事業	多様な働き方の導入等によりワーク・ライフ・バランスの推進に取り組む市内事業所を「小矢部市ワーク・ライフ・バランス推進事業所」として市が認定し、広報、市HP等でその取り組みを紹介する。
◎多文化共生推進事業	外国人が増加する中、多文化共生に対する理解を深めるために、国際交流イベントや日本語を学ぶ機会を提供する。

②自立と社会参加の促進

福祉事業所、公共職業安定所（ハローワーク）等との連携により、障害者や生活困窮者の就労を支援し、自立と社会参加を促進します。

■重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状値（R1）	目標値（R6）
福祉施設から一般就労への移行者数	2件（H29）	8件

■主な事業（◎：重点プロジェクト事業、(継)継続事業）

事業名	事業概要
◎(継)障害者自立支援給付事業	障害特性に応じた就労支援を行うとともに、障害雇用のネットワークづくりや障害者就労に関する啓発活動などを行う。
◎(継)生活困窮者自立支援事業	生活困窮者等に対し就労支援員による就労支援や、就労体験等就労準備のための支援などを行う。

第1期総合戦略 主要施策4 施策内容16 主な事業30（再掲除く）

第2期総合戦略 主要施策4 施策内容10 主な事業26〔◎19、◎以外7〕

基本目標2 人をよびこむ“まちづくり”

基本的方向

新たに策定するシティプロモーション戦略プランに基づいて、おやべ暮らし体験ツアーやふるさと納税等を通じて小矢部市の魅力を伝え、移住の促進に取り組めます。加えて、新型コロナウイルス感染症を契機とした、地方移住への関心の高まりを、地方への大きなひと・しごとの流れにつなげるため、地域の魅力を高め、人を惹きつける地域づくりや魅力を発信していきます。また、企業や商業施設が集中する金沢市・富山市といった中核市や季節に応じてレジャーを楽しむことができる海・山等に短時間で行くことができる立地の優位性や利便性を活かし、人口の流出を抑制するとともに市外からの通勤者等の移住促進を図ります。

アウトレットモールを拠点とした観光ルートの確立や、稲葉山・宮島峡での自然景観、倶利伽羅峠や祭り、寺院等の地域資源を活用することで小矢部市の認知度向上を図るとともに、インバウンドの受入態勢の整備や広域で連携した観光推進に取り組むことで、交流人口の増加に努めます。また、「新メルヘン」をコンセプトとした中心市街地の活性化等を図り、若者や女性にとって魅力あるまちづくりを推進します。

目標値

指 標	現状値 (R1)	目標値 (R6)
社会動態数	▲69人 (H30)	80人
観光客入込数	1,174千人 (H30)	1,280千人

具体的な施策・事業

(1) 移住・定住への支援

① U I J ターンの促進

特にアウトレットモールの開業効果による雇用環境の向上（市内従業者数の増加、事業所数の増加）を定住の拡大につなげるため、各種支援制度、住宅・雇用・生活に関する情報提供の充実を図り、U I J ターンを促進します。

また、近隣の高等学校や県内等の高等教育機関との連携のもと、若者が市内の企業等に関心を持ってもらう機会を強化することや、地方創生の取組を知ってもらうことにより、若者の移住・定住を促進します。



■重要業績評価指標（K P I）

指標名	現状値 (R1)	目標値 (R6)
社会動態	▲69人 (H30)	80人
助成金を利用した転入者数	157人 (H30)	180人

■主な事業（◎：重点プロジェクト事業、(継)継続事業）

事業名	事業概要
◎(継)住宅取得助成事業	小矢部市内で住宅を取得し、居住した方に対して助成金を交付することで、定住人口の増加を図る。

◎(継)空き家バンク利活用促進事業	小矢部市空き家・空き地情報バンクを通じた物件の賃貸や売買に対して助成することで、市街地の活性化と小矢部市への定住促進を図る。
◎(継)富山で暮らそう！移住支援事業	首都圏等から移住し、県のマッチングサイトを通じて就職した方に対し、移住支援金を支給することで、移住を促進する。(富山県広域連携事業)
◎(継)高等教育機関等連携推進事業(大学コンソーシアム富山等との連携)	大学コンソーシアム富山等に調査研究を依頼することで、中山間地域の振興及び定住促進等に関する地域課題の解決を図る。

②おやべ暮らしの魅力発信と情報提供

シティプロモーション戦略プランに基いた情報発信などの施策の展開により、本市の魅力度・認知度の向上を図るとともに、市民の小矢部市への愛着や誇りを醸成し、移住・定住の促進及び関係人口の創出を推進します。

■重要業績評価指標(KPI)

指標名	現状値(R1)	目標値(R6)
「住み続けたい」と考える人の割合	67.0%	80.0%
ふるさと納税件数(個人分)	648件	1,300件

■主な事業(◎:重点プロジェクト事業、(継)継続事業)

事業名	事業概要
◎(継)ふるさと回帰PR事業	県などが開催する首都圏等での移住・定住支援セミナー等へ参加し、移住を検討している人に対し、小矢部市での生活や魅力についてPRすることで移住・定住につなげる。
◎(継)おやべ暮らし体験ツアー事業	首都圏等在住者向けに農業体験等の生活体験を行う「暮らし編」、県内学生向けに小矢部市内の企業を巡る「しごと編」のツアーを通じて、移住希望者や学生が小矢部市の具体的なイメージを持つ機会を創出する。
◎おやべ暮らし生活体験事業	空き家等を活用して農家民宿体制を整備し、地方への移住や定住への関心がある方に滞在してもらうことで、小矢部市での生活の様子を肌で感じてもらい、移住・定住につなげる。
◎ふるさとおやべ応援事業	ふるさと納税を実施することで、財源を確保するとともに、返礼品を通じて小矢部市の特産品のPRを図る。
(継)おやべで暮らそう！シティプロモーション事業	小矢部市の魅力度・認知度を向上させることで、小矢部市と多様に関わる人を増やし、移住・定住の促進を図る。また、市民の小矢部市への愛着・誇りを醸成することで、小矢部市の魅力をより倍増させるとともに、将来のUターン等につなげる。
◎ふるさと通信発信事業	小矢部市から離れた人やふるさと納税を通じて縁を持った寄付者との継続的なつながりを保つため、小矢部市の近況や取組などの情報をSNS等を通じて定期的に発信し、「ふるさと」に関心を持ち続けてもらうことで、関係人口を創出し、将来的な移住・定住につなげる。

(継)都市農村交流対策事業	グリーンツーリズムの取組や滞在型の農作業・農産物加工体験などにより、県外との交流人口の拡大を図る。
(継)地域おこし協力隊受入事業	三大都市圏をはじめとする都市地域などから人材を誘致し、地域住民との共同活動支援などの地域協力活動を実施する地域おこし協力隊を受け入れることで、地域力の維持・活性化を図る。
(継)テレワーク推進事業	「テレワーク移住をするなら小矢部市」を積極的にアピールするとともに、テレワーク移住を推進する施策を行い、首都圏等からの移住者の増を図る。

(2) 観光の振興



①観光資源の整備・活用

倶利伽羅県定公園や稲葉山・宮島峡県定公園などの環境整備を行うとともに、「和」の地域資源やメルヘン公共建築のブラッシュアップ、新たな素材の発掘を進め、アウトレットモールと市内観光資源の連携により、魅力的な観光ルートを創出します。

また、市内交通事業者や飲食・宿泊施設、観光ガイド、企業、観光協会、商工会等と連携し、受入態勢の強化を推進します。

■重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状値（R1）	目標値（R6）
観光の振興の満足度	15.9%	30.0%
産業観光受入人数（累計）	1,323人（H30）	7,323人

■主な事業（◎：重点プロジェクト事業、(継)継続事業）

事業名	事業概要
◎(継)観光推進事業	「34のメルヘン建築群」と「歴史的観光資源」を、一体的にブラッシュアップし、「メルヘン」と「歴史」をキーワードとした体験メニュー付きの観光ルートを確立し、首都圏からの誘客を図る。同時に関連する商品の開発等により、本市の新たな魅力を創出する。シンボルキャラクター「メルギューくん」と「メルモモちゃん」を活用したイベントを開催し、本市の魅力の情報発信と誘客に努める。
◎稲葉山・宮島峡環境整備事業	稲葉山・宮島峡を継続的に整備し、観光地としての機能を高めることで、アウトレットモール等からの観光客の周遊促進を図る。
◎倶利伽羅環境整備事業	倶利伽羅県定公園を継続的に整備し、観光地としての機能を高め、義仲・巴プロジェクトをより一層推進することで、アウトレットモール等からの観光客の周遊促進を図る。
◎産業観光推進事業	小矢部市の産業を活かした新たな観光として、「見学型」「体験型」「座学型」に分類した「おやべ型産業観光」を商工会等と連携しながら推進する。

②観光誘客・PRの充実

大河ドラマや映画などのフィルムコミッション設立を目指すとともに、観光振興プランに基づき戦略的な情報発信や誘客事業を進め、観光振興を図ります。

また、ホームページをはじめ誘導看板、パンフレット等の多言語化を進め、インバウンドへの強化を進めます。

■重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状値（R1）	目標値（R6）
観光客入込数	1,174千人（H30）	1,280千人

■主な事業（◎：重点プロジェクト事業、（継）継続事業）

事業名	事業概要
◎（継）義仲・巴広域連携推進事業	小矢部市にゆかりの深い木曾義仲と巴の顕彰及びNHK大河ドラマ放映実現に向けた活動に取り組み、地域の活性化につなげる。
◎（継）観光推進事業（再掲）	「34のメルヘン建築群」と「歴史的観光資源」を、一体的にブラッシュアップし、「メルヘン」と「歴史」をキーワードとした体験メニュー付きの観光ルートを確立し、首都圏からの誘客を図る。同時に関連する商品の開発等により、本市の新たな魅力を創出する。シンボルキャラクター「メルギューくん」と「メルモモちゃん」を活用したイベントを開催し、本市の魅力の情報発信と誘客に努める。
（継）多言語パンフレット発行事業	小矢部市を紹介するパンフレットの多言語化を進めることで、インバウンドの誘致を図る。
（継）日本版DMO活動事業	「選ばれ続ける観光地」をめざし、マーケティングや観光戦略を実践していくための県実施事業に対して一部を負担する。（富山県広域連携事業）

③情報ネットワーク基盤の整備

国内外からの観光客に対し、情報ネットワーク基盤を提供するためWi-Fi環境整備を推進します。

■重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状値（R1）	目標値（R6）
観光フリーWi-Fiの設置箇所数（累計）	4箇所（H30）	7箇所

■主な事業（◎：重点プロジェクト事業、（継）継続事業）

事業名	事業概要
◎（継）Wi-Fi環境整備事業	外国人をはじめとした観光客が、無料で使用できるWi-Fiスポットを県の統一規格で整備することで、観光客自らの情報発信等を促進し、観光PRとしての拡散を期待する。

(3) 魅力ある市街地等の形成



① 都市機能を支える都市軸の形成

街路事業を実施することで市民生活の利便性向上を図るとともに、アウトレットモール等から市内への周遊を促します。また、地域が主体となって実施する市街地の再整備を支援することで、魅力ある市街地の形成を目指します。

■重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状値（R1）	目標値（R6）
都市計画道路の整備率	64.7%（H30）	65.2%
魅力ある市街地形成等の満足度	16.9%	30.0%

■主な事業（◎：重点プロジェクト事業、（継）継続事業）

事業名	事業概要
◎石動駅北地区整備事業	石動駅北地区の再開発事業等を支援することで、市街地の再整備を促進する。
◎宿泊施設立地助成事業	宿泊施設の立地等に対し助成することで、市街地エリアへビジネス・観光客の誘客を図り、賑わいを創出する。
◎県営街路事業	社内上野本線、駅南中央線を整備することで、交通の利便性向上を図る。
◎市営街路事業	寄島西中野線、駅南中央線を整備することで、交通の利便性向上を図る。

② 良好な住環境づくり

住宅取得助成や空き家バンクの登録推進による空き家対策等を図り、居住誘導区域内の人口を確保するとともに、コンパクトなまちづくりを推進します。

■重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状値（R1）	目標値（R6）
空き家・空き地情報バンク成約件数（累計）	26件（H30）	56件

■主な事業（◎：重点プロジェクト事業、（継）継続事業）

事業名	事業概要
◎（継）住宅取得助成事業（再掲）	小矢部市内で住宅を取得し、居住した方に対して助成金を交付することで、定住人口の増加を図る。
◎（継）空き家バンク利活用促進事業（再掲）	小矢部市空き家・空き地情報バンクを通じた物件の賃貸や売買に対して助成することで、市街地の活性化と小矢部市への定住促進を図る。

③ 公園・緑地の整備・管理の充実

公園施設を良好な状態に保つことで、子供やその保護者をはじめ、幅広い世代に親しまれる魅力のある空間を提供します。

■重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状値（R1）	目標値（R6）
公園遊具の健全率	63.1%（H30）	90.0%

■主な事業（◎：重点プロジェクト事業、(継)継続事業）

事業名	事業概要
◎公園施設管理事業	公園・緑地における遊具の新設や改修、長寿命化対策を推進し、効率的な維持管理を進める。

④中心市街地の活性化

「新メルヘン」をコンセプトとした中心市街地の活性化を図るとともに、まちなか商業の活性化支援、空き店舗等の活用による新規出店の促進により、魅力あるまちづくりを進めます。

■重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状値（R1）	目標値（R6）
中心市街地通行者数	297人（H29）	330人
空き店舗等を活用した新規出店数（累計）	36件（H30）	48件

■主な事業（◎：重点プロジェクト事業、(継)継続事業）

事業名	事業概要
(継)まちなか等振興事業	商店街等の空き店舗又は空き地を活用し出店する者に対し、創業費の一部を支援し、まちなかの賑わい創出を図るとともに、利便性に優れ、魅力ある商店街づくりを促進する。
(継)地域まちなか商業活性化支援事業	商工会が改修した石動駅前商工会ビル（める・びる）に対し、運営費の一部を支援し、まちなかの賑わい創出を図り、魅力ある商店街づくりを促進する。
(継)おやべ楽市事業	商工会、商店街協同組合、地元商店主が中心となって開催する軽トラ市等の集客イベントに対して支援することで、まちなかの賑わい創出を図る。

第1期総合戦略 主要施策4 施策内容15 主な事業24（再掲除く）

第2期総合戦略 主要施策3 施策内容9 主な事業29〔◎20、◎以外9〕（再掲除く）

基本目標3 未来を拓く“ひとづくり”

基本的方向

若者の出会い・交流の機会を創出するとともに、「結婚」、「妊娠」、「出産」、「子育て」までの一貫した支援をすることによって、若者の結婚・出産・子育ての希望をかなえます。さらに確かな学力と豊かな人間力を育む教育環境の整備を図り、ふるさとへの愛着を醸成することで、未来を拓き、将来の小矢部市を担う人材を育成します。

また、ゆとりのある生活を実現することで少子化対策を推進するために、保育サービスの充実や放課後児童クラブなどの子育て支援を強化するとともに、事業所に対して働き方改革に応じた働き方の啓発を進めます。

目標値

指 標	現状値 (R1)	目標値 (R6)
出生数／15～49歳の女性の人口（千人）	37.0人 (H30)	47.4人
婚姻件数／15～49歳の人口（千人）	14.2件 (H30)	16.2件

具体的な施策・事業

(1) 結婚支援



①結婚活動への支援

市内企業や各種団体と連携し、結婚を希望する独身男女の出会い・交流機会を創出するとともに、「おやべの縁結びさん」活動の充実により、結婚活動支援の強化を図ります。

■重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状値 (R1)	目標値 (R6)
「おやべの縁結びさん」による成婚数（累計）	14件 (H30)	26件
出会いイベント参加者数	130人 (H30)	150人

■主な事業（◎：重点プロジェクト事業、(継)継続事業）

事業名	事業概要
◎「縁結びさん」活動事業	「おやべの縁結びさん」養成講座を開催し、登録者の増加を図り、活動を支援する。また、「おやべ縁結びの会」に対し活動補助金を交付することで、縁結びさんの活動について自主性、機動性の確保を図る。
◎婚活イベント・セミナー開催事業	婚活セミナーやイベント等を実施するとともに、民間団体等が実施する婚活支援イベントに対して補助をすることで、「縁結びさん」の活動との相乗効果を図る。

②結婚新生活への支援

結婚後の新生活を本市で始める若者を増やすため、新婚世帯に対する住宅助成などを通じて結婚新生活への支援を行います。

■重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状値（R1）	目標値（R6）
新婚世帯向け助成制度利用件数	29件（H30）	40件

■主な事業（◎：重点プロジェクト事業、（継）継続事業）

事業名	事業概要
◎（継）結婚新生活支援事業	新婚世帯に対し、引越し費用等の一部を助成し、結婚に伴う経済的負担を軽減する。
◎（継）住宅取得助成事業（再掲）	小矢部市内で住宅を取得し、居住した方に対して助成金を交付することで、定住人口の増加を図る。

(2) 妊娠・出産・子育てまでの一貫した支援



①妊娠・出産への支援

妊産婦健康診査や乳幼児健康診査の受診を推奨する等、母子保健事業の充実を図るとともに、不妊・不育症に悩む人への支援を強化し、安心して子供を産み育てられる環境づくりを進めます。

■重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状値（R1）	目標値（R6）
妊娠11週以下での妊娠届出率	93.7%（H30）	100.0%
3歳児健診受診率	99.1%（H30）	100.0%

■主な事業（◎：重点プロジェクト事業、（継）継続事業）

事業名	事業概要
◎母子保健推進事業	母子保健法に基づき母性並びに乳児及び幼児に対する保健指導、健康診査、医療などのサービスを実施することで、母性並びに乳児及び幼児の健康保持、増進を図る。
◎（継）不妊治療費、不育症治療費助成事業	不妊治療、不育症治療にかかった費用の一部を助成し、経済的負担の軽減を図ることで、少子化対策の充実を図る。
◎（継）妊娠・出産包括支援事業（妊産婦健康診査・交通費助成事業）	妊産婦健康診査をはじめ、妊娠初期から子育て期にわたる支援を実施することで、妊産婦及び乳幼児並びにその保護者の生活の質の改善・向上や胎児・乳幼児にとって良好な生育環境の実現、維持を図る。
（継）誕生祝い事業	小矢部市の次世代を担う新しい生命の誕生をお祝いするため、お祝い品として市の特産物であるバラ等を贈る。第3子以降の場合は、メルヘン米又は稲葉メルヘン牛と交換できるクーポンも併せて贈る。
（継）おやべママ・パパ講座	ママ・パパ講座を実施することで、妊娠、出産、育児に対する知識の普及と健康な児の出産への援助、母乳育児を推進する。

②子育て支援の充実

子ども医療費助成制度の継続的な実施等により子育て世帯や多子世帯への経済的負担の軽減を推進するとともに、放課後児童クラブ等の充実、子育て相談支援体制の整備により、子育て支援を強化します。

■重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状値（R1）	目標値（R6）
子育て支援センターの年間利用者数	13,091人（H30）	15,000人
子育て相談件数（こども課、子育て世代包括支援センター）	632件（H30）	1,000件

■主な事業（◎：重点プロジェクト事業、（継）継続事業）

事業名	事業概要
◎（継）子どもインフルエンザ予防接種費助成事業	小矢部市内の医療機関で子供がインフルエンザ予防接種を受けた際にかかる費用の一部を助成する。（現物給付により助成）
◎（継）こども及び妊産婦医療費助成事業	0歳から中学3年生までの子供の医療費、高校生の入院費及び妊産婦の特定の疾病の医療費を助成する。
◎（継）保育料軽減事業（第3子無料化）	第3子の保育料を軽減（無料化）し、子育て支援を推進することで、少子化対策を図る。
◎（継）放課後児童健全育成事業	保護者が仕事等により昼間家庭にいない小学生に対し、授業の終了後に居場所を提供して、その健全な育成を図る。
◎（継）地域子育て支援拠点事業	妊婦や子育て家庭の保護者間の交流の場を設けるとともに、育児不安等に関する相談や指導及び情報提供を行い、各家庭の子育てを支援する。
（継）保育コンシェルジュ及び子育てコーディネーターの配置	総合保健福祉センターに保育コンシェルジュ、各保育所を巡回する子育て支援コーディネーターを配置し、子育て相談や教育・保育施設や地域の子育て支援事業等の情報提供などを行う。

③子供の権利の擁護

ひとり親家庭に対する医療費の助成や児童扶養手当等の経済的支援により、子供の貧困対策を進めます。

■重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状値（R1）	目標値（R6）
ひとり親家庭等の学習支援回数	33回（H30）	100回

■主な事業（◎：重点プロジェクト事業、（継）継続事業）

事業名	事業概要
◎子どもの貧困対策事業（ひとり親家庭、生活困窮家庭）	ひとり親家庭等の経済的支援を行うとともに母子寡婦福祉会による行事等を通じてふれあいの機会を設け、ひとり親家庭の児童の健やかな成長を図る。

④教育・保育の質の向上

家庭・地域・保育所・認定こども園が交流・連携する子育ての充実を図るとともに、保育所や認定こども園での子供の体力向上を支援するなど、教育・保育の質の向上を推進します。

■重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状値（R1）	目標値（R6）
平均施設利用児童数（保育所・認定こども園）	936人（H30）	950人

■主な事業（◎：重点プロジェクト事業、(継)継続事業）

事業名	事業概要
◎保育所等地域活動推進事業	児童の福祉の向上に資することを目的として地域の需要に応じた幅広い交流活動を推進する。
◎(継)地域子育て支援拠点事業（再掲）	妊婦や子育て家庭の保護者間の交流の場を設けるとともに、育児不安等に関する相談や指導及び情報提供を行い、各家庭の子育てを支援する。
◎保育所・認定こども園における体力向上支援事業	運動に関して専門的な知識をもった指導者が子供の実態に応じて、様々な動作や環境を設定することで子供たちの意欲を引き出し、運動に対する興味・関心を深める。

⑤保護者の多様なニーズへの対応

休日保育、一時保育、延長保育、病児・病後児保育など、多様な保育ニーズに対応できる保育サービスの充実を推進します。

■重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状値（R1）	目標値（R6）
一時預かりサービス等実施箇所数	4箇所（H30）	6箇所

■主な事業（◎：重点プロジェクト事業、(継)継続事業）

事業名	事業概要
◎特別保育（休日保育、一時保育、延長保育、病児・病後児保育）	子育て世代の多様な就労体系に柔軟に対応できるように体制を整備する。

⑥障害等の早期発見と対応の充実

発達障害等、多様化する障害についての正しい理解の促進に向けた啓発活動の推進と相談・支援体制の充実を図ります。

■重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状値（R1）	目標値（R6）
保育所等巡回訪問実施回数	26回（H30）	50回

■主な事業（◎：重点プロジェクト事業、(継)継続事業）

事業名	事業概要
◎発達障害児への支援事業	18歳未満の障害児を対象に日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練やその他必要な支援を行う。
◎ことばの教室運営事業	言語発達や発音に問題を抱え、集団生活を送る上で困難を抱えている幼児と保護者への、相談及び支援を行う。

(3) おやべっ子を育む教育環境の充実



①確かな学力を育む教育の推進

スタディメイト等の設置を推奨するなど、きめ細やかな学校教育の推進を図るとともに、読書活動・福祉・環境・国際理解・英語教育・情報教育の推進により、児童及び生徒の確かな学力、生きる力を育む教育を実現します。

■重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状値（R1）	目標値（R6）
小中学校図書貸出冊数（児童生徒一人当たり）	64冊（H30）	68冊

■主な事業（◎：重点プロジェクト事業、(継)継続事業）

事業名	事業概要
◎(継)英語教育推進事業	語学指導の充実を図るため、英語指導助手を小中学校へ派遣する。
◎(継)学校図書館司書配置事業	日々の生活の中で子供たちが読書を楽しむ心や豊かな人間形成を育むため、図書館司書を設置し、読み聞かせや図書指導をする。
◎(継)心身障害児就学支援事業	本人・保護者に対する早期からの相談体制の構築・就学移行期における支援などを行う。
◎(継)「子どもと親の相談員」設置事業	市内小中学校に、不安や悩みを気軽に話すことができ、児童・生徒のストレスを和らげることができる第三者的な立場の相談員を設置する。
◎(継)不登校児童生徒等適応指導事業	教育相談体制の充実を図るため、児童生徒の臨床心理に関して専門的知識、経験を有するスクールカウンセラーの配置などを行う。
◎(継)特色のある学校づくり推進事業	「総合的な学習の時間」において、各学校それぞれテーマを設定し、本市の歴史、文化、ふるさとを大切に育む心育てる。
◎(継)スタディメイト派遣事業	発達障害や特別な支援が必要な児童に対して、学校生活や学習活動の支援を行うための支援員（スタディメイト）を全校に配置する。また、多人数学級（31人～35人の小学3年生までの学級）に支援員を配置する。
◎(継)社会に学ぶ14歳の挑戦事業	中学2年生が5日間、学校外での職場体験に参加することにより、働くことの大変さや厳しさを学び、規範意識や社会性を高め、将来の生き方を考える契機とする。

②健やかな育成環境の整備

家庭・学校・地域が一体となり、ふるさと教育・キャリア教育・体験学習・芸術文化活動を推進し、子供たちの健やかな育成とふるさとへの愛着の醸成を図るとともに、市民図書館等を活用した学習を推進します。

■重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状値（R1）	目標値（R6）
図書館利用者数（図書館活動参加者数を含む）	104,286人（H30）	112,000人
地域おやべっ子教室推進事業参加児童数（延べ）	8,219人（H30）	9,000人

■主な事業（◎：重点プロジェクト事業、（継）継続事業）

事業名	事業概要
◎（継）地域おやべっ子教室推進事業	子供たちを対象に、平日の放課後や土曜日に、小学校や公民館において、地域の多様な技能を持つ方々の参画を得ながら、スポーツ、文化活動、体験活動、ふるさと学習等を実施する。
◎（継）通学・宿泊合宿事業	自立に目覚め始める小学4年生を対象として、地区公民館で通学・宿泊合宿事業を実施し、友達や大人との共同生活を体験させる。
◎（継）子ども読書活動推進事業	子供の読書活動を推進するため、市民図書館に招待するなど小さいころから読書に親しむきっかけを提供する。
◎（継）生涯学習推進講座（子ども対象講座）	小学生や就学前児童を対象に、土日や長期休業期間中に、親子参加型のクッキング講座やかるた教室など、子供を対象とした講座を開催する。

③ICTを活用した効果的な学習の展開

Society5.0時代に求められる情報活用力を習得することが小中学校に求められることから、ICT環境を活用した情報の収集や表現、処理等の学習活動が可能となるようなICT環境の整備を進めます。

■重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状値（R1）	目標値（R6）
小中学校コンピューター整備率	6人/台	1人/台

■主な事業（◎：重点プロジェクト事業、（継）継続事業）

事業名	事業概要
◎情報教育環境整備事業	小中学校におけるICT機器の整備を行うことで、児童・生徒・教職員の教育環境の向上を目指すとともに、教職員の公務環境の整備を行うことで、業務効率の向上を図り、教職員の多忙化解消により「子供と向き合う時間」を確保する。



(4) 若者・女性の経済的活動の促進

①男女共同参画推進体制の充実

小矢部市男女共同参画推進員の支援を行うとともに、市政の審議会等をはじめ、企業や職能団体等における意思決定の場への女性の参画や企画・渉外部門等への積極的な女性登用について働きかけるなど、男女共同参画の推進を図ります。

■重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状値（R1）	目標値（R6）
小矢部市が設置する審議会等における女性委員の割合	25.6%（H30）	34.0%

■主な事業（◎：重点プロジェクト事業、(継)継続事業）

事業名	事業概要
◎(継)男女共同参画推進事業	小矢部市男女共同参画推進員の活動を支援するとともに、男女共同参画に関する施策の推進に努める。

②ワーク・ライフ・バランスの推進

男性の子育てや家事への参加という観点から、事業所によるワーク・ライフ・バランスの推進を促すために、情報提供や講座の実施などを通じて、普及啓発を進めます。

■重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状値（R1）	目標値（R6）
男女共同参画に対する理解・認識を深めるための講座や講演への参加者数	370人（H30）	450人

■主な事業（◎：重点プロジェクト事業、(継)継続事業）

事業名	事業概要
◎(継)ワーク・ライフ・バランス（イクボス推進事業）	男性の育児休業取得の推進など、仕事と家庭や子育てとの両立を図りやすい職場づくりを推進する。

第1期総合戦略 主要施策4 施策内容13 主な事業32（再掲除く）

第2期総合戦略 主要施策4 施策内容13 主な事業35〔◎32、◎以外3〕（再掲除く）

基本目標4 みんなで支え合う“しくみづくり”

基本的方向

誰もが安全で安心して生活ができるよう、防災体制や公共交通の充実を図ります。また、行政だけではなく地域コミュニティにおいて地域住民が主体となって支え合い、活躍することで、健康的、文化的に暮らし続けていくことのできる地域づくりを目指します。また、新しい生活様式への対応などにより、感染症が拡大しない地域づくりに取り組んでいきます。

目標値

指標	現状値 (R1)	目標値 (R6)
小矢部市が暮らしやすいと感じる市民の割合	61.3%*	70.0%
要介護（要支援含む）認定者／高齢者人口	19.3% (H30)	現状維持

※市民満足度調査より、「小矢部市での暮らしやすさ」に関し、「暮らしやすい」11.4%、「比較的暮らしやすい」49.9%の合計値。

具体的な施策・事業

(1) 安全・安心な地域づくり



① 防災体制の充実

自主防災組織や防災士の育成・強化を図るとともに、防災訓練等に対する支援を行うなど地域防災力の強化に努めます。また、食料・資機材等の備蓄の整備や、市内企業との災害協定の締結を進めるなど、防災体制の強化を図ります。

■重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状値 (R1)	目標値 (R6)
防災訓練を実施した地区数	13 地区 (H30)	16 地区
防災士養成数	76 人 (H30)	102 人

■主な事業（◎：重点プロジェクト事業、(継)継続事業）

事業名	事業概要
◎(継) 自主防災組織育成事業	地域における防災力向上及び防災活動を促進するため、各地区自主防災組織に対して助成を行う。
(継) 防災士養成事業	地域防災力を強化するため、担い手となる防災士の養成を図る。
(継) 備蓄整備事業	自然災害等の発生に備え、食料や資機材など備蓄品の整備を行う。

② 消防力の充実・強化

消防団サポート事業の充実等による消防団員の確保及び消防団の活性化により消防力の強化を推進します。

■重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状値 (R1)	目標値 (R6)
消防団員の充足率	96.6%	98.0%

■主な事業（◎：重点プロジェクト事業、（継）継続事業）

事業名	事業概要
◎消防団活性化事業	消防団員が各種活動を通じて地域住民と交流を図ることにより、消防団に対する理解や団員の確保を図る。
◎（継）私設消防隊消防施設整備事業	地域の消防防災体制の充実を図るため、私設消防隊が整備する小型動力ポンプ等について助成を行う。

③交通安全活動の充実

交通安全ボランティア等による見守り活動を実施するとともに、交通弱者である子供や高齢者に対する交通安全教育等を実施することにより交通安全の推進を図ります。

■重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状値（R1）	目標値（R6）
交通事故発生件数	62件（H30）	56件

■主な事業（◎：重点プロジェクト事業、（継）継続事業）

事業名	事業概要
◎交通安全対策事業	小矢部警察署、小矢部市交通安全協会をはじめ関係団体と連携し、交通安全キャンペーン等を実施することで、市内での交通事故の発生を抑制する。

④防犯意識の高揚

市民、警察、防犯協会及び行政が一体となり、防犯意識の啓発、防犯パトロール隊の実施等、地域ぐるみの防犯活動を推進します。

■重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状値（R1）	目標値（R6）
刑法犯認知件数	80件（H30）	68件

■主な事業（◎：重点プロジェクト事業、（継）継続事業）

事業名	事業概要
（継）防犯カメラ設置事業	安全なまちづくりのために、自治会等が地域の犯罪を抑制する目的で防犯カメラ等を設置することに対し、補助金を交付する。
（継）LED街路灯等導入促進事業	市内全域の防犯灯をLED化することで、明るいまちづくりの推進、環境に配慮した低炭素社会へ寄与するとともに、消費電力削減による財政負担の軽減を図る。

⑤住宅施策の充実

空き家対策の取組に関する情報を市民に広く周知し、空き家の適切な管理を促すとともに、管理不全な空き家の所有者に対しては、改善指導を行うことで市民の安全・安心を確保します。また、空き家所有者や行政だけでなく、地域住民や不動産・法務・建築・まちづくりNPO等の専門家団体、民間事業者などの多様な主体が相互に連携を図ることで、総合的な空き家対策の取組を推進します。

■重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状値（R1）	目標値（R6）
老朽危険空き家（特定空家）の除却率	43.3%	50.0%

■主な事業（◎：重点プロジェクト事業、(継)継続事業）

事業名	事業概要
◎危険空き家除却支援事業	空き家の管理等について相談を受けるとともに、老朽危険空き家の解体及び除却に対して補助金を交付することで、安心・安全な生活環境の保全、地域の良好な景観の保全に努める。
◎(継)空き家バンク利活用促進事業（再掲）	小矢部市空き家・空き地情報バンクを通じた物件の賃貸や売買に対して助成することで、市街地の活性化と小矢部市への定住促進を図る。

⑥地域医療の充実

身近なかかりつけ医の普及や医療機関相互の連携により、安心で質の高い地域医療体制の充実に努めます。

■重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状値（R1）	目標値（R6）
休日在宅当番医制度実施率	100%	現状維持

■主な事業（◎：重点プロジェクト事業、(継)継続事業）

事業名	事業概要
◎地域医療体制整備事業	地域医療体制を充実し、市民が安心してより質の高い医療を地域でうけることができるよう、基幹医療機関及び医師会への体制等整備補助及び支援を行う。
◎救急医療体制整備事業	関係機関と連携し、休日、夜間における一次、二次救急医療体制の維持、充実に努める。

(2)生涯現役の地域づくり



①健康づくりの推進

心身ともに健康な生活を送るための適格な保健事業の展開と主体的な健康づくりへの取組の支援を推進します。

■重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状値（R1）	目標値（R6）
糖尿病予備群の割合	男性 27.2% 女性 33.1% (H30)	男性 25.0%以下 女性 30.0%以下
人口10万人当たりの自殺者数	22.5人 (H30)	15.8人

■主な事業（◎：重点プロジェクト事業、(継)継続事業）

事業名	事業概要
◎健康づくり事業（がん検診、健康診査、健康教育、健康相談）	各種検診、相談事業等を通じ、疾病予防と早期発見、健康の保持増進を図り、市民の健康寿命の延伸への寄与を図る。
(継)感染予防事業	各種定期予防接種の実施に加えて、新型コロナウイルスワクチンの接種体制の整備や接種を実施します。
◎(継)食生活改善推進事業	地域において栄養及びバランスの取れた食生活に関する知識の普及を目的に活動している食生活改善推進員の養成（健康づくり栄養教室）及び育成（食生活改善推進員研修会）を行う。また、市食生活改善推進協議会の地域組織活動等を支援する。
◎地域自殺対策緊急強化事業	市民一人ひとりが自殺に追い込まれることのない社会の実現を目指して、自殺を予防する地域づくりを推進する。
◎ひきこもり対策事業	ひきこもり支援に関する情報発信、関係機関とのネットワーク構築、支援拠点づくり、サポーター派遣を通じて、ひきこもり支援の基盤を構築し、早期支援、自立支援を実施する。

②地域包括ケアシステムの推進

高齢者が知識や経験を活かし、いきいきと暮らすことができる社会をつくとともに、生涯にわたり安心した生活を送ることができるよう、地域包括ケアシステムの充実を推進します。

■重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状値（R1）	目標値（R6）
認知症サポーター数	10,937人（H30）	13,900人

■主な事業（◎：重点プロジェクト事業、(継)継続事業）

事業名	事業概要
◎地域包括支援センター運営事業	介護保険法に定められた地域包括支援センターの設置により、高齢者が住み慣れた地域で、健康で自立した生活が送れるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援サービスを切れ目なく提供する「地域包括ケアシステム」の推進を図る。
(継)在宅医療・介護連携推進事業	在宅等での療養生活が継続できるよう、在宅医療と介護の連携を促進し、地域包括ケア体制の充実を目指す。
◎権利擁護推進事業	成年後見制度等の権利擁護事業の周知に努めるとともに、虐待の早期発見や消費者被害等の防止を含めた高齢者の権利を守る体制の推進を図る。
◎(継)介護予防・日常生活支援総合事業	住み慣れた地域で高齢者が健康で生きがいのある生活を送れるよう、高齢者の自立支援と要支援等状態の重度化防止に努める。

③高齢者の生きがいづくり

高齢者の学習・文化活動や交流活動を促進するとともに、高齢者の経験や技能を活かした就労機会の拡大を図り、高齢者が日常生活の中で生きがいを持てる環境づくりを目指します。

■重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状値（R1）	目標値（R6）
ふれあいいいきサロン参加回数	1.3回/人（H30）	1.5回/人

■主な事業（◎：重点プロジェクト事業、(継)継続事業）

事業名	事業概要
◎超高齢社会就労機会拡大事業	市シルバー人材センターは、市内の高齢者（おおむね60歳以上）のうち健康で働く意欲の有る者に労働の場を提供し、その経験や技術を地域の発展に活かしてもらうことを目的として運営されている。また、高齢者の生きがい対策と介護予防の視点もある。
(継)老人福祉センター利用促進事業	外出機会を創出し健康増進を図り、明るく豊かな長寿社会を築くため市内在住の高齢者に老人福祉センターの利用券を配布する。

(3) 利便性の高い地域づくり



①交通の利便性向上

市営バス（メルバス）やデマンド型乗合タクシー等、きめ細やかな市営バス運行体制の充実を図るとともに、石動駅の機能強化により、あいの風とやま鉄道の利便性向上を進め、公共交通のサービスレベル向上を推進します。

■重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状値（R1）	目標値（R6）
メルバスの利用人数	52,373人（H30）	55,845人
石動駅乗車人員	1,557人/日（H30）	1,566人/日

■主な事業（◎：重点プロジェクト事業、(継)継続事業）

事業名	事業概要
◎(継)市営バス運行事業	主に小矢部市民の移動手段として、市内全域において5路線のメルバス、5路線のデマンド型乗合タクシーを運行する。
◎石動駅パーク&ライド促進事業	石動駅周辺の駐車場を利用するパーク&ライドを促進し、石動駅の利用者の増加を図ることで、公共交通である鉄道の維持及び利便性の向上に努める。
◎(継)並行在来線対策事業	あいの風とやま鉄道株式会社と連携し、石動駅の利用者の増加を図ることで、公共交通である鉄道の維持及び利便性の向上に努める。

②買い物弱者対策の推進

一人暮らし高齢者や中山間地域住民等に対する移動販売事業や宅配事業に取り組む市内事業者を支援することにより、買い物弱者対策を推進します。

■重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状値（R1）	目標値（R6）
移動販売・御用聞き利用者数	11,260人（H30）	現状維持

■主な事業（◎：重点プロジェクト事業、（継）継続事業）

事業名	事業概要
◎（継）買い物支援事業	買い物弱者の日常的な買い物の利便性向上を図るため、小矢部市内において移動販売・宅配サービス等の買い物弱者支援事業を実施する事業者に対し、補助金を交付する。

(4) 住民主体の地域づくり



①市民活動の促進

市民、ボランティア、NPO法人などによる市民活動を促進し、市民と行政の協働を推進します。

■重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状値（R1）	目標値（R6）
おやべ型1%まちづくり事業の採択数	83事業	84事業

■主な事業（◎：重点プロジェクト事業、（継）継続事業）

事業名	事業概要
◎（継）おやべ型1%まちづくり事業	個人市民税の1パーセントに相当する額を財源とし、地域の活性化や特色あるまちづくりの推進を目的として、市民自らが考え、みんなでいっしょに行動する事業に対し、補助金を交付して活動を支援する。
◎（継）コミュニティづくり推進事業（コミュニティ助成事業）	地域のコミュニティ活動の充実を図るため、コミュニティ活動に必要な設備等の整備に対する助成を行う。

②中山間地域における「小さな拠点」の形成

中山間地域等において、生活・福祉サービスを一定のエリア内に集め、各町内会組織、或いは周辺集落を結ぶ「小さな拠点」を形成し、持続可能な地域づくりを目指します。

■重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状値（R1）	目標値（R6）
「小さな拠点」箇所数（累計）	1箇所	3箇所

■主な事業（◎：重点プロジェクト事業、（継）継続事業）

事業名	事業概要
◎「小さな拠点」形成支援事業	県や関係機関と連携し、中山間地域の活性化や「小さな拠点」の形成に関する情報を提供することで、地域の自主的な取組を支援する。

③地域ケアネット活動の推進

子育てに困っている人や一人暮らしの高齢者等、地域で様々な福祉課題を持つ方に対して、地域の人や機関等が一体で見守りや話し相手となって課題解決を図っていくなど、地域の支え合い体制の整備を図ります。

■重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状値（R1）	目標値（R6）
ケアネット活動による支援件数	18,877件（H30）	20,150件

■主な事業（◎：重点プロジェクト事業、（継）継続事業）

事業名	事業概要
（継）地域総合福祉推進事業	すべての人が地域で安心して暮らせ、互いに自立を支え合う福祉コミュニティの推進を図るため、地域の支援を必要とする人に、地域住民自らがチームを結成し、見守りや声かけなどの個別支援を行うケアネット活動に対し補助を行う。

④多文化共生のまちづくりの推進

小矢部市の外国人住民数が増加する中、異なる文化や生活習慣を持つ人々が、共に認め合い暮らしやすい地域を築くことを目指します。

■重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状値（R1）	目標値（R6）
多文化共生に関するイベント（年間）	1回	3回

■主な事業（◎：重点プロジェクト事業、（継）継続事業）

事業名	事業概要
◎多文化共生推進事業（再掲）	多文化共生に対する理解を深めるために、国際交流イベントや日本語を学ぶ機会を提供する。

(5) 住み続けたい地域づくり

①生涯スポーツの推進

小矢部市生涯スポーツプランを推進することで、市民が生涯スポーツを楽しむことができる環境づくりをするとともに、将来を担う子供たちへの競技力向上や、市内で盛んなホッケー競技への支援をします。

■重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状値（R1）	目標値（R6）
市スポーツ施設の利用者数	220,000人（H30）	230,000人
週1回以上スポーツを実施する人の割合	35.0%（H28）	45.0%



■主な事業（◎：重点プロジェクト事業、（継）継続事業）

事業名	事業概要
（継）全国的スポーツ大会及びスポーツイベント開催	スポーツ少年団から一般の競技スポーツの全国的大会やスポーツイベントの開催誘致を行う。
（継）競技力向上事業	中学生・高校生選手の育成・強化を図るために、本事業による指導者の招聘等により、将来オリンピック等の各種大会に出場できるよう競技力の向上を目指す。
（継）ホッケークラブチーム育成支援事業	市内ホッケー成年クラブチームが出場する日本リーグや社会人大会等への活動補助を行う。

②文化の振興

芸術文化施設の充実や文化活動の促進、人材育成などにより、市民が優れた芸術文化に触れる機会を充実し、文化の振興を図ります。

■重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状値（H30）	目標値（R6）
クロスランドおやべ自主事業参加者数	49,774人（H30）	50,000人
小矢部市大谷博物館入場者数	1,514人（H30）	2,000人

■主な事業（◎：重点プロジェクト事業、（継）継続事業）

事業名	事業概要
◎クロスランドおやべ自主事業	クロスランドおやべを活用しながら、市民に質の高い芸術文化に触れる機会を提供する。
◎（継）アートハウスおやべ自主事業	アートハウスおやべを活用しながら、子供を対象としたワークショップや展示会など様々な事業を展開する。
◎（継）小矢部市大谷博物館活用事業	文化的価値を有する大谷邸を博物館として公開し、郷土資料等を展示することにより、幅広い年齢層にとってのふるさと教育の場とする。

③文化財や伝統文化等の継承への支援

曳山、歌舞伎山、獅子舞、市指定無形文化財及び民俗文化財の保存継承に向けた支援を行い、伝統文化への継承を推進します。

■重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状値（R1）	目標値（R6）
伝統芸能の保存等団体数	110団体	現状維持

■主な事業（◎：重点プロジェクト事業、（継）継続事業）

事業名	事業概要
◎（継）伝統文化・芸能保存継承事業	指定文化財である石動の曳山祭や津沢夜高あんどん祭をはじめ、獅子舞用具の修繕等に補助を行い、地域の伝統文化・伝統芸能の保存継承と活性化を図る。
◎（継）小矢部三大祭保存伝承事業	小矢部三大祭である、石動曳山祭・おやべの獅子舞祭・津沢夜高あんどん祭の保存・伝承について検討する。
（継）おやべ祭り等補助事業	中心市街地等での賑わい創出のため、小矢部三大祭やおやべ祭りの事業主体に補助を行う。

④循環型まちづくりの推進

ごみの発生抑制（リデュース）や有効活用（リユース）、再生利用（リサイクル）を意識した3Rの取組の周知を図るとともに、廃材利用や自然エネルギーの有効活用を推進することにより、環境への負荷が小さい循環型まちづくりを推進します。

また、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」の達成を目指すための各種施策を推進します。

■重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状値（R1）	目標値（R6）
ごみの排出量	9,446t（H30）	8,394t

■主な事業（◎：重点プロジェクト事業、(継)継続事業、(新)新規事業）

事業名	事業概要
◎(継)ごみ減量化及び再生利用推進事業	ごみの分別収集や紙類の資源回収など、市民・市民団体・事業者・市が協働して、ごみの発生抑制・再使用・再生利用を進め、ごみとして焼却・埋立処分される量を極力減らし、資源として循環する社会の形成を目指す。
◎(継)地球環境保全対策事業（ペレットストーブ設置推進事業）	地球温暖化対策を推進するとともに木材利用の拡大による関連事業の活性化に寄与するため、ペレットストーブ設置に対し補助を行う。
(継)地球環境保全対策事業（ゼロカーボンシティ推進事業）	「ゼロカーボンシティ」達成のため、地域再生可能エネルギーの導入目標の策定及び地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定を行う。また、ゼロカーボンに関する情報提供を行うポータルサイトを県と連携して運営を行う。

(6)地域連携の推進



①広域行政・事業連携の推進

高岡地区広域圏事務組合での事務の連携を進めるとともに、高次の都市機能の集積・強化や生活関連機能サービスの向上を図るため、連携中枢都市圏である「とやま呉西圏域都市圏ビジョン」に掲げる連携事業を推進します。

■重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状値（R1）	目標値（R6）
高等教育機関等との連携事業数（累計） （大学コンソーシアム、COC+、地域包括連携協定、呉西圏域）	10件（H30）	35件

■主な事業（◎：重点プロジェクト事業、(継)継続事業）

事業名	事業概要
◎高岡地区広域圏事務組合事業	高岡市、氷見市、小矢部市の3市で構成する組合において、共同事務として地域振興事業、ごみ処理事業等を運営する。
◎(継)とやま呉西連携事業	県西部6市で形成するとやま呉西圏域ビジョン懇談会や、呉西圏域の中長期的な将来像や連携協約に基づく具体的な取組等を定める都市圏ビジョンの推進を図る。

◎高等教育機関等連携推進事業（大学コンソーシアム富山等との連携）（再掲）	大学コンソーシアム富山等に調査研究を依頼することで、中山間地域の振興及び定住促進等に関する地域課題の解決を図る。
--------------------------------------	--

②障害者福祉の総合的な取組の推進

砺波圏域（砺波市、小矢部市、南砺市）で構成する砺波地域障害者自立支援協議会において、障害者が自立した日常生活又は社会生活が営めるシステムづくりについて協議を行う。

■重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状値（R1）	目標値（R6）
地域生活支援拠点等の整備数	0件	1件

■主な事業（◎：重点プロジェクト事業、（継）継続事業）

事業名	事業概要
◎障害者地域生活支援事業（地域生活支援拠点等整備事業）	砺波市、南砺市との連携により整備した地域生活支援拠点において相談支援や緊急時の受入を実施することにより、障害者福祉の取組を推進します。

(7) 効率的な行政運営の推進



①情報ネットワークを活用した行政サービスの向上

Society5.0を見据え、AI・ロボティクスを活用し事務作業等の効率化を図るとともに、行政サービスの質の向上を進めるスマート自治体の実現を推進します。また、小矢部市が保有する情報等のオープンデータ化を推進します。

加えて、令和4年10月に策定した、小矢部市デジタル化推進計画に位置付けられた基本方針に基づく推進施策に積極的に取り組み、本市のデジタル化を推進します。

■重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状値（R1）	目標値（R6）
市がオープンデータとして公開しているデータ数	1件	15件

■主な事業（◎：重点プロジェクト事業、（継）継続事業）

事業名	事業概要
◎情報ネットワーク推進事業	市が保有する情報をオープンデータとして公開・提供することにより、市民の利便性向上や地域活性化を図る。
◎RPA等推進事業	人工知能やロボットによる自動化を進めることで、事務作業等の効率化や行政サービスの向上を図り、より質の高いサービスを提供する。
(新) デジタル化推進事業	行政手続きのオンライン化やキャッシュレス決済の推進、デジタルデバйд対策、民間事業者のDX支援等により、自治体DXの推進を図る。

第1期総合戦略 主要施策8 施策内容21 主な事業33（再掲除く）

第2期総合戦略 主要施策7 施策内容22 主な事業48〔◎35、◎以外13〕（再掲除く）

目標値・KPI一覧

基本目標 1 魅力ある“しごとづくり”

目標値

指 標	現状値 (R1)	目標値 (R6)
市内従業者数	15,058 人 (H28)	14,300 人
市内事業所数	1,623 事業所 (H28)	1,500 事業所

重要業績評価指標 (KPI)

No	指標名	現状値 (R1)	目標値 (R6)
1	製造品出荷額等 (製造業)	79,300 百万円 (H30)	現状維持
2	年間商品販売額 (小売業)	28,224 百万円 (H28)	現状維持
3	企業立地助成金助成件数 (累計)	35 件 (H30)	41 件
4	販路拡大支援助成件数 (累計)	27 件 (H30)	57 件
5	商業インキュベータ独立件数 (累計)	0 件 (H30)	2 件
6	工場立地用地取得件数 (1,000 m ² 以上、累計)	24 件 (H30)	36 件
7	鳥獣による農作物被害額	312 万円 (H30)	266 万円
8	担い手への農地集積率	75.7%	90.0%
9	小矢部ブランド認定件数 (累計)	17 件 (H30)	19 件
10	おやべの木年間利用量	0 m ³ (H30)	50 m ³
11	市内従業者数	15,058 人	14,300 人
12	福祉施設から一般就労への移行者数	2 件 (H29)	8 件

基本目標 2 人をよびこむ“まちづくり”

目標値

指 標	現状値 (R1)	目標値 (R6)
社会動態数	▲69 人 (H30)	80 人
観光客入込数	1,174 千人 (H30)	1,280 千人

重要業績評価指標 (KPI)

No	指標名	現状値 (R1)	目標値 (R6)
13	社会動態	▲69 人 (H30)	80 人
14	助成金を利用した転入者数	157 人 (H30)	180 人
15	「住み続けたい」と考える人の割合	67.0%	80.0%
16	ふるさと納税件数 (個人分)	648 件	1,300 件
17	観光の振興の満足度	15.9%	30.0%
18	産業観光受入人数 (累計)	1,323 人 (H30)	7,323 人
19	観光客入込数	1,174 千人 (H30)	1,280 千人

20	観光フリーWi-Fiの設置箇所数（累計）	4箇所（H30）	7箇所
21	都市計画道路の整備率	64.7%（H30）	65.2%
22	魅力ある市街地形成等の満足度	16.9%	30.0%
23	空き家・空き地情報バンク成約件数（累計）	26件（H30）	56件
24	公園遊具の健全率	63.1%（H30）	90.0%
25	中心市街地通行者数	297人（H29）	330人
26	空き店舗等を活用した新規出店数（累計）	36件（H30）	40件

基本目標3 未来を拓く“ひとづくり”

目標値

指標	現状値（R1）	目標値（R6）
出生数／15～49歳の女性の人口（千人）	37.0人（H30）	47.4人
婚姻件数／15～49歳の人口（千人）	14.2件（H30）	16.2件

重要業績評価指標（KPI）

No	指標名	現状値（R1）	目標値（R6）
27	「おやべの縁結びさん」による成婚数（累計）	14件（H30）	26件
28	出会いイベント参加者数	130人（H30）	150人
29	新婚世帯向け助成制度利用件数	29件（H30）	40件
30	妊娠11週以下での妊娠届出率	93.7%（H30）	100.0%
31	3歳児健診受診率	99.1%（H30）	100.0%
32	子育て支援センターの年間利用者数	13,091人（H30）	15,000人
33	子育て相談件数（こども課、子育て世代包括支援センター）	632件（H30）	1,000件
34	ひとり親家庭等の学習支援回数	33回（H30）	100回
35	平均施設利用児童数（保育所・認定こども園）	936人（H30）	950人
36	一時預かりサービス等実施箇所数	4箇所（H30）	6箇所
37	保育所等巡回訪問実施回数	26回（H30）	50回
38	小中学校図書貸出冊数（児童生徒一人当たり）	64冊（H30）	68冊
39	図書館利用者数（図書館活動参加者数を含む）	104,286人（H30）	112,000人
40	地域おやべっ子教室推進事業参加児童数（延べ）	8,219人（H30）	9,000人
41	小中学校コンピューター整備率	6人/台	1人/台
42	小矢部市が設置する審議会等における女性委員の割合	25.6%（H30）	34.0%
43	男女共同参画に対する理解・認識を深めるための講座や講演への参加者数	370人（H30）	450人

基本目標4 みんなで支え合う“しくみづくり”

目標値

指 標	現状値 (R1)	目標値 (R6)
小矢部市が暮らしやすいと感じる市民の割合	61.3%	70.0%
要介護（要支援含む）認定者／高齢者人口	19.3% (H30)	現状維持

重要業績評価指標（KPI）

No	指標名	現状値 (R1)	目標値 (R6)
44	防災訓練を実施した地区数	13 地区 (H30)	16 地区
45	防災士養成数	76 人 (H30)	102 人
46	消防団員の充足率	96.6%	98.0%
47	交通事故発生件数	62 件 (H30)	56 件
48	刑法犯認知件数	80 件 (H30)	68 件
49	老朽危険空き家（特定空家）の除却率	43.3%	50.0%
50	休日在宅当番医制度実施率	100%	現状維持
51	糖尿病予備群の割合	男性 27.2% 女性 33.1% (H30)	男性 25.0%以下 女性 30.0%以下
52	人口 10 万人当たりの自殺者数	22.5 人 (H26～H30 平均)	15.8 人
53	認知症サポーター数	10,937 人 (H30)	13,900 人
54	ふれあいいいききサロン参加回数	1.3 回/人 (H30)	1.5 回/人
55	メルバスの利用人数	52,373 人 (H30)	55,845 人
56	石動駅乗車人員	1,557 人/日 (H30)	1,566 人/日
57	移動販売・御用聞き利用者数	11,260 人 (H30)	現状維持
58	おやべ型 1%まちづくり事業の採択数	83 事業	84 事業
59	「小さな拠点」箇所数（累計）	1 箇所	3 箇所
60	ケアネット活動による支援件数	18,877 件 (H30)	20,150 件
61	多文化共生に関するイベント（年間）	1 回	3 回
62	市スポーツ施設の利用者数	220,000 人 (H30)	230,000 人
63	週 1 回以上スポーツを実施する人の割合	35.0% (H28)	45.0%
64	クロスランドおやべ自主事業参加者数	49,774 人 (H30)	50,000 人
65	小矢部市大谷博物館入場者数	1,514 人 (H30)	2,000 人
66	伝統芸能の保存等団体数	110 団体	現状維持
67	ごみの排出量	9,446t (H30)	8,394t
68	高等教育機関等との連携事業数（累計） （大学コンソーシアム、COC+、地域包括連携協定、呉西圏域）	10 件 (H30)	35 件
69	地域生活支援拠点等の整備数	0 件	1 件
70	市がオープンデータとして公開しているデータ数	1 件	15 件

【参考資料】 第1期総合戦略の目標達成状況と課題

第1期総合戦略の概要

総合戦略の視点

「再生」から「創生」へ。おやベルネサンスの新たなステージ。

- ◆ 「三井アウトレットパーク北陸小矢部」開業のインパクトを活用した賑わいと産業の創出
- ◆ 「北陸のハブ（拠点）」機能を活かした「県境のまちづくり」の推進
- ◆ 若者や女性が輝く環境づくり
- ◆ 安全・安心な暮らしの確保

基本目標

- 1 地場産業の振興と若者や女性に魅力のある雇用の創造
- 2 交流・定住を促進する地域力の創造
- 3 若者の出会いの場を創出し、安心して結婚・出産・子育て・教育ができるまちの創造
- 4 住み続けたいくなる安心・快適なまちの創造

第1期総合戦略の目標値達成状況

基本目標	指標	現状値 (H26)	目標値 (H31)	実績値	
1	就業人口	16,301人(国調)	16,500人	15,812人(H27国調) 1,190人増(H26→28) ^{※1}	
	事業所数	1,536件	1,750件	1,623件(H28)	
2	観光客入込数	1,121千人	1,800千人	1,174千人(H30)	
	社会動態数	▲53人(H25)	50人	▲69人(H30)	
3	出生数	171人	220人	187人(H30)	
	男性 未婚率	25-29 30-34	74.6% 49.8%	引き下げる 引き下げる	75.0%(H27) 53.4%(H27)
	平均自立期間 ／平均余命	男性 90.77% 女性 85.87%	引き上げる	男性 90.8(H30) 女性 86.1(H30)	
4	住み続けたい割合	81.8%(H25)	引き上げる	67%(R1)	

※1：経済センサス 従業者数

第1期総合戦略の課題

- 要点
 1. 従業者数、事業所数が増加（経済センサス）
 2. 交流人口の伸びは緩やかであり、社会動態は減少傾向が続く
 3. 出生数の伸びは緩やかであり、未婚率は高まりつつある
 4. 余命に対する自立期間の割合はやや向上、住み続けたい割合は低下傾向
- 分析
 - ・ アウトレットモールの開業効果により従業者数、事業所数が増加し雇用環境の向上がみられるが、定住促進への効果が発現していない。
 - ・ 婚活支援、妊娠から子育てまでの総合的な支援は着実に活用されており、出生数の維持につながっているが、人口減少の抑制までは至っていない。